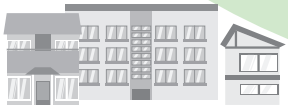
那須英二 議員



新庁舎建設費用の具体的な内訳想定金額は

問 新庁舎建設について聞く。

(1) 今の段階で想定する具体的な費用の内訳は。

(2) 合併推進債が5年間延びるということを市側が把握したのはいつごろか。

(3) 合併推進債が5年延長となり、他の場所(市街化調整区域)に移転することは可能か。

(4) 再度立ち返って議論する必要があるのでないか。

総額は53億2千万円を想定している

答 市長

(1) 前提として不確定要素を含んでおり、他市の実績等を参考に算出した数値である。

総額は、53億2千万円内訳は、本体工事費44億4千万円、附帯工事費約5億5千万円(設計、外構、解体費等を含む)、仮庁舎改修費と引っ越し業務委託料で1億円、用地の補償費と物件補償費で約2億3千万円を想定している。

答 財政課長

(2) 昨年の12月頃である。

答 総務課長

(3) 現在の法規制では、難しい。

答 市長

(4) 庁舎のあり方は、6月議会までにその方向を示したい。

今後の民間委託業務はどのようにしていくか

問 民間委託を推進していくことについて聞く。

(1) 現在、これまでに民間委託してきた事業は。

(2) 民営化についての考え方は。

どの事業を委託業務にするか検討していく

答 財政課長

(1) 小・中学校の給食調理業務、庁舎等清掃業務、市営バスの運転業務、選挙のときの期日前投票所の投票事務、確定申告会場の受け付け等業務、市営火葬場の管理業務、市広報等の配達・運搬業務がある。

答 市長

(2) 専門性を持った民間事業は、ノウハウが豊富にあり、直営方式で行うより、サービス面や具体的な事務事業を効率的に実施できる場合も多いと考える。しかしながら、どのような事業に対して民間に委託していくかは、検討していく。

恒常的な残業が当たり前になっているのでは

問 職員の労働環境について聞く。

(1) どの課が一番残業が多いのか。

(2) 恒常的に残業が当たり前になっている部署はあるのか。

(3) 休職者はどれぐらいいるのか。

(4) 臨時職員の人数は。

恒常的に忙しいところもある 適正な人事配置に努める

答 総務課長

(1) 部署を特定することはできない。

(2) 恒常的に忙しいところもあるが、適正な人事配置に努める。

(3) 現在、休職者は1名である。

(4) 人数は250名である。ただし、常時250名が勤務しているわけではない。